

松田町が子育て世帯に 選ばれるための方策について



質問者
北村 和士 議員



質 子育て支援の強化により、若い世代が親世代の近くに住める「子育て支援からはじまる高齢者福祉」の理念である「ドルレンファーストのもと、松田町では医療費や給食費の無償化など子育て支援が充実している一方、物価高騰や就労形態の多様化により、幼稚園での預かり保育制度が現状に合わなくなっているとの声があります。制度の見直しについて町の考えを伺います。

会環境は日々変化しているため、保護者アンケートを実施し、朝の一時利用を含めたニーズを丁寧に把握したうえで、安全管理や人員配置も考慮しながら、制度見直しを具体的に検討していく。

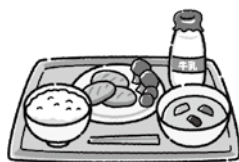
A 実態にあった幼稚園での 預かり保育制度に改善していく！



回答（教育長）

質 子育て支援を継続・拡充するには財源確保も欠かせないため、積極的に国の補助金や民間活力の活用を更に推進して頂きたいと考えますが、いかがですか。

答 将来を見据え、「稼ぐ自治体」として財政運営をしていく。



質 保護者の就労形態によつては幼稚園での預かり保育に費用負担が生じるために、町外へ転出する懸念もありますが、課題をどう捉えていますか。

答 幼稚園の教育方針や環境の魅力に加え、給食費無償化など町の支援策を分かりやすく発信していくことも重要だが、保護者の実情に沿った預かり保育制度へ改善することで、町外への転出を防ぐ。

新松田駅北口地区市街地 再開発事業の公共性及び 所信表明における協働



質問者
平野 由里子 議員



質 本事業には国県町から補助金が出されることになっている。駅前広場やペDESTリアンデッキなどに公共性があることは理解しやすい。一方、商業・公益施設・マンションを含む再開発ビルにも補助金が付くが、公共性があることに理解が進まない。本事業における「公共性、公共の福祉」とはどういうものか。

答 当地区の安全・利便性の強化、防災性の向上、賑わいの創出を通じて将来にわたり持続可能な都市環境にすることと考える。

質 賑わいに直結するスーパの誘致について。

答 組合が主体となつて進めるが町も連携協力する。既に相当数の事業者が興味を示しているが、今後はより具体的な協議を進めていく。

A 「持続可能なり まちづくりと 皆と一緒に 進める」

回答（町長）



質 再開発ビルの中の公益施設には子育て関連のものともう決まっているのか。

答 子育て関連を中心に検討しているが、まだ具体的には決まっていない。

い。広く意見を聞き、施設への付加価値について優先順位を踏まえ検討する。

質 平成29年度から20年間の構想を示す都市マスタープランでは、当地区は「中心地にふさわしい賑わいの創出・高度利用による都市機能の拡充」となっているが、このビジョンに沿って事業を行うことが、公共性と捉えてよいのか。

答 常に未来を見据え協働のまちづくりとして町民の皆様や議会と共に事業の実施に向けて歩むことが公共性の一つと考える。

質 町長の所信表明では8つの公約の推進のために必要なこととして「町民との協働」を挙げている。そのための具体的な施策は。

答 皆で考えて作り上げていく前提として情報共有をこれまで以上に重視し、様々な方法での発信を工夫する。